



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 トランスジェニック
 コード番号 2342 URL <http://www.transgenic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福永 健司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理財務部長 (氏名) 山本 健一

TEL 092-288-8470

四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-----|------|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第2四半期 | 751 | 4.8 | △133 | — | △145 | — | △104 | — |
| 27年3月期第2四半期 | 717 | 27.8 | △126 | — | △132 | — | △130 | — |

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △104百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 △135百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第2四半期 | △7.54 | — |
| 27年3月期第2四半期 | △9.53 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 28年3月期第2四半期 | 3,369 | 2,669 | 79.0 | 191.38 |
| 27年3月期 | 3,573 | 2,777 | 77.4 | 198.81 |

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 2,663百万円 27年3月期 2,764百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 28年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-----|------|------|------|-------|-----------------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 2,150 | 9.8 | 40 | 68.8 | 35 | 272.5 | 18 | 1.0 | 1.29 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 28年3月期2Q | 13,918,941 株 | 27年3月期 | 13,908,641 株 |
| ② 期末自己株式数 | 28年3月期2Q | 1,421 株 | 27年3月期 | 1,421 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 28年3月期2Q | 13,915,606 株 | 27年3月期2Q | 13,717,534 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、当社は、当第2四半期連結累計期間に、新株予約権の行使により、新たに普通株式10,300株を発行しており、業績予想の「1株当たり当期純利益」は当該株式を含めて算定しております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 5 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 5 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 5 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 5 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 6 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 8 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 9 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 10 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 11 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 11 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 11 |
| (セグメント情報等) | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、前半は、企業収益や個人所得の改善を背景に、国内の設備投資と個人消費が増加し、景気は緩やかながらも回復基調で推移いたしました。期の中ばからの中国経済の減速及び食料品などの値上がりによる個人消費の停滞感の高まりにより、景気足踏み状況となつてまいりました。

当社グループが属するバイオ関連業界におきましては、人々の健康と豊かな生活の実現に向け、大手企業による米国再生医療企業巨額買収、新薬開発や再生医療への活用に向けた企業と大学の巨額共同研究開始など、単独の研究機関・企業での取組みを超えた動きがありました。

このような環境の中で、当社グループは、ジェノミクス事業においては、本年4月に、遺伝子改変マウス作製受託サービスの作製期間を短縮できるゲノム編集技術(CRISPR/Cas9)に関する米国Broad研究所の特許群の非独占実施許諾を取得し、受注強化に取り組まれました。また、本年5月には、医化学創薬㈱との間で、抗体医薬シーズに関する共同研究開発契約を締結し、共同で抗体医薬シーズの開発に着手いたしました。さらに、本年6月には、従来の免疫不全マウスを用いることなく臓器ヒト化マウスを確立する技術の国際特許出願をいたしました。なお、本年9月には「早期癌マーカーとしてのジアセチルスペルミンに関する特許」(米国)及び「タンパク質高発現系技術に関する特許」(日本)の2件が成立いたしました。

CRO※1事業においては、既存の顧客との取引を拡大・深化させるとともに、新規顧客の開拓に取り組まれました。また、本年6月、北海道内のバイオ産業の振興を目的に医療分野の研究開発促進と研究支援分野のビジネス連携を図るため、経済産業省 北海道経済産業局が主導する、大学研究機関と道内企業とのマッチングやコンソーシアム(連携体)の構築を図る取組みに、連結子会社の㈱新薬リサーチセンターがグループ会社の同㈱ジェネティックラボとともに参画いたしました。

先端医療事業においては、本年4月に、当社の分子解析センターの事業を㈱ジェネティックラボに譲渡し、経営資源及び営業の一元化による事業運営の効率化に取り組まれました。さらに、同月、医薬品開発のためのバイオマーカー解析を強力にサポートするため、臨床試験支援サービスに特化した「臨床試験部」を創設し、病理診断、分子病理解析(IHC※2、FISH※3)など経験と実績に裏打ちされた当社の技術を駆使し、専任担当者が、顧客の要望に迅速に対応できる体制といたしました。

病理診断事業においては、一層の品質向上及び事業効率化に取り組むとともに、豊富な病理診断技術を活かしたサービスの拡充に取り組んでまいりました。特に当第2四半期累計連結期間は、前期から開始した子宮頸がんの予防および早期発見に向けたHPV※4核酸検出サービスの受注拡大に注力してまいりました。

新規事業への取組みとしては、本年6月30日、医化学創薬㈱との共同研究開発契約をさらに戦略的に発展させるため、同社と資本業務提携契約を締結し、本年7月1日に第三者割当増資にて株式を取得し、持分法適用関連会社といたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高751,584千円(前年同期比4.8%増)、営業損失133,285千円(前年同期126,307千円)、経常損失145,310千円(前年同期132,516千円)となり、また、前期連結決算の黒字化を受けて繰延税金資産を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は104,990千円(前年同期130,713千円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

① ジェノミクス事業

当事業では、遺伝子破壊マウスの作製受託、モデルマウスの販売、及び抗体作製受託、新規バイオマーカーの開発などを行っております。当第2四半期連結累計期間の売上高は148,010千円(前年同期179,291千円)、営業利益は887千円(前年同期10,128千円)と減収減益となりました。下期は、上期締結のライセンス契約に加え、本年10月締結の『学校法人兵庫医科大学及び国立大学法人三重大学が共同保有する「アトピー性皮膚炎モデル動物」に関する特許の全世界での独占的通常実施権についてのライセンス契約』によるモデルマウスの拡充等により、受注及び売上の回復に取り組んでまいります。

② CRO事業

積極的な営業・受注活動により、当第2四半期連結累計期間の売上高は268,104千円（前年同期200,488千円）と大幅増収となり、営業損益につきましては、営業損失25,764千円（前年同期52,529千円）と大幅な赤字圧縮となりました。なお、下期以降の売上となる受注残高につきましては、当第2四半期末時点で448,385千円（前年同期302,958千円）と拡大傾向を維持しております。引き続き、受注強化に努めるとともに、グループ内のジェノミクス事業及び先端医療事業との連携によるシナジー効果の増大を図り、通期黒字幅の拡大を目指してまいります。

③ 先端医療事業

当事業では、遺伝子解析受託サービス、個別化医療に向けた創薬支援サービスを行っております。当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、137,605千円（前年同期147,923千円）と減収となり、また、昨年11月に開始した個人向け遺伝子解析サービスについて損益分岐点を大きく下回る操業度で推移したことを受けて、営業損益につきましては営業損失25,145千円（前年同期2,225千円）となりました。今後は、成長分野と位置付ける個別化医療に向けた創薬支援サービスの受注に注力し、業績回復を図ります。また、本年9月にノーステック財団の研究開発助成事業で採択された課題（核内受容体を用いた、道産食品の機能性成分の評価・分析法の開発と民間による受託試験体制の整備）等新規の解析受託サービスの拡充を図ってまいります。

④ 病理診断事業

当事業は(株)ジェネティックラボの中核事業であり、病理専門医による豊富な診断実績及び最新のバイオマーカー解析技術による高品質な病理診断サービスを提供しております。当第2四半期連結累計期間の売上高は、受託検体数の増加により201,660千円（前年同期195,533千円）、営業利益は19,892千円（前年同期14,842千円）と計画を上回る増収増益となりました。今後も、引き続き、受託検体数の増加及びサービスの拡充に取り組んでまいります。さらに、本年10月から開始した、受診者自身が採取（自己採取）した細胞でのHPV併用検査の受注拡大を図ってまいります。

-
- ※1 CRO : Contract Research Organization 医薬品開発業務受託機関
 ※2 IHC : Immunohistochemistry 免疫組織化学染色
 ※3 FISH : Fluorescence in situ hybridization 蛍光 in situ ハイブリダイゼーション
 ※4 HPV : Human papillomavirus ヒトパピローマウイルス

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,667,666千円となり、前連結会計年度末に比べ266,460千円減少いたしました。これは主に現金及び預金並びに有価証券、受取手形及び売掛金がそれぞれ309,100千円、116,598千円減少した一方、仕掛品、その他流動資産がそれぞれ99,043千円、58,873千円増加したことによるものであります。固定資産は1,702,242千円となり、前連結会計年度末に比べ62,583千円増加いたしました。これは主に有形固定資産、投資その他の資産がそれぞれ35,456千円、45,606千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は389,273千円となり、前連結会計年度末に比べ34,392千円減少いたしました。これは主に未払金、未払法人税等がそれぞれ57,579千円、14,031千円減少する一方、買掛金、その他流動負債がそれぞれ22,426千円、13,976千円増加したことによるものであります。固定負債は310,822千円となり前連結会計年度末に比べ62,009千円減少いたしました。これは主に長期末払金が57,805千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,669,812千円となり、前連結会計年度末に比べ107,474千円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失104,990千円の計上及び新株予約権の減少6,113千円によるものであります。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは114,796千円の支出（前年同期は64,165千円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失145,310千円に、減価償却費の計上額31,062千円、売上債権の減少額116,598千円、たな卸資産の増加額100,222千円、仕入債務の増加額22,426千円、未払金の減少額50,853千円、その他負債の増加額19,982千円等を調整したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは120,795千円の支出（前年同期は12,622千円の支出）となりました。これは主に、関係会社株式の取得による支出53,746千円、有形固定資産の取得による支出68,243千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは73,508千円の支出（前年同期は77,010千円の支出）となりました。これは主に、長期末払金の返済による支出57,805千円、自己新株予約権取得による支出4,881千円等によるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ309,100千円減少し、1,037,085千円（前年同期末1,358,725千円）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの売上高は季節的変動が著しく、下半期に売上が集中する傾向にありますが、当第2四半期連結累計期間における業績は概ね計画どおりに推移し、受注も順調に獲得しております。

以上により、現時点におきましては平成27年5月14日に公表いたしました平成28年3月期通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 946,185 | 1,037,085 |
| 受取手形及び売掛金 | 451,395 | 334,797 |
| 有価証券 | 400,000 | — |
| 商品及び製品 | 1,258 | 2,143 |
| 仕掛品 | 45,221 | 144,264 |
| 原材料及び貯蔵品 | 34,830 | 35,126 |
| その他 | 55,702 | 114,575 |
| 貸倒引当金 | △468 | △326 |
| 流動資産合計 | 1,934,126 | 1,667,666 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 966,593 | 969,658 |
| 減価償却累計額 | △273,324 | △291,119 |
| 建物及び構築物(純額) | 693,269 | 678,539 |
| 土地 | 621,290 | 621,290 |
| その他 | 466,922 | 526,966 |
| 減価償却累計額 | △374,525 | △384,382 |
| その他(純額) | 92,397 | 142,583 |
| 有形固定資産合計 | 1,406,956 | 1,442,412 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 193,367 | 174,789 |
| その他 | 6,538 | 6,637 |
| 無形固定資産合計 | 199,905 | 181,426 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資その他の資産 | 35,146 | 80,642 |
| 貸倒引当金 | △2,350 | △2,240 |
| 投資その他の資産合計 | 32,796 | 78,402 |
| 固定資産合計 | 1,639,658 | 1,702,242 |
| 資産合計 | 3,573,785 | 3,369,909 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 2,559 | 24,985 |
| 未払金 | 206,414 | 148,834 |
| 1年内償還予定の社債 | 50,000 | 50,000 |
| 未払法人税等 | 20,952 | 6,920 |
| 賞与引当金 | 8,642 | 8,332 |
| 受注損失引当金 | 472 | 1,599 |
| その他 | 134,624 | 148,600 |
| 流動負債合計 | 423,666 | 389,273 |
| 固定負債 | | |
| 長期末払金 | 346,830 | 289,025 |
| その他 | 26,001 | 21,797 |
| 固定負債合計 | 372,831 | 310,822 |
| 負債合計 | 796,498 | 700,096 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,550,604 | 2,552,396 |
| 資本剰余金 | 298,653 | 300,445 |
| 利益剰余金 | △82,792 | △187,782 |
| 自己株式 | △1,725 | △1,725 |
| 株主資本合計 | 2,764,739 | 2,663,334 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 103 | 148 |
| その他の包括利益累計額合計 | 103 | 148 |
| 新株予約権 | 12,443 | 6,330 |
| 純資産合計 | 2,777,287 | 2,669,812 |
| 負債純資産合計 | 3,573,785 | 3,369,909 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 717,376 | 751,584 |
| 売上原価 | 526,403 | 563,838 |
| 売上総利益 | 190,973 | 187,746 |
| 販売費及び一般管理費 | 317,280 | 321,032 |
| 営業損失(△) | △126,307 | △133,285 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 690 | 383 |
| 持分法による投資利益 | 163 | — |
| その他 | 1,220 | 535 |
| 営業外収益合計 | 2,074 | 918 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,214 | 1,087 |
| 持分法による投資損失 | — | 8,391 |
| 訴訟関連費用 | 4,400 | — |
| その他 | 2,668 | 3,464 |
| 営業外費用合計 | 8,283 | 12,943 |
| 経常損失(△) | △132,516 | △145,310 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △132,516 | △145,310 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,444 | 2,860 |
| 法人税等調整額 | — | △43,180 |
| 法人税等合計 | 3,444 | △40,320 |
| 四半期純損失(△) | △135,960 | △104,990 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △5,247 | — |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △130,713 | △104,990 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純損失(△) | △135,960 | △104,990 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 38 | 44 |
| その他の包括利益合計 | 38 | 44 |
| 四半期包括利益 | △135,922 | △104,945 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △130,675 | △104,945 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △5,247 | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △132,516 | △145,310 |
| 減価償却費 | 27,263 | 31,062 |
| のれん償却額 | 18,577 | 18,577 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △183 | △252 |
| 受取利息及び受取配当金 | △696 | △391 |
| 支払利息 | 1,214 | 1,087 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △163 | 8,391 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 180,238 | 116,598 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △44,114 | △100,222 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | — | 22,426 |
| 未払金の増減額(△は減少) | △21,955 | △50,853 |
| その他の資産の増減額(△は増加) | △3,239 | △17,213 |
| その他の負債の増減額(△は減少) | 47,709 | 19,982 |
| 小計 | 72,134 | △96,116 |
| 利息及び配当金の受取額 | 689 | 425 |
| 利息の支払額 | △1,879 | △1,667 |
| 法人税等の支払額 | △6,779 | △17,437 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 64,165 | △114,796 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 関係会社株式の取得による支出 | — | △53,746 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △9,498 | △68,243 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △2,540 | — |
| 貸付金の回収による収入 | 594 | 607 |
| その他 | △1,178 | 587 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △12,622 | △120,795 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期末払金の返済による支出 | △57,805 | △57,805 |
| 新株予約権の行使による株式の発行による収入 | — | 2,358 |
| 自己新株予約権の取得による支出 | — | △4,881 |
| その他 | △19,205 | △13,180 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △77,010 | △73,508 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △25,467 | △309,100 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,384,192 | 1,346,185 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,358,725 | 1,037,085 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-------------------|--------------|---------|---------|---------|---------|--------------|--------------------------------|
| | ジェノミクス 事業 | CRO事業 | 先端医療事業 | 病理診断事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 179,237 | 194,682 | 147,923 | 195,533 | 717,376 | — | 717,376 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 54 | 5,805 | — | — | 5,860 | △5,860 | — |
| 計 | 179,291 | 200,488 | 147,923 | 195,533 | 723,236 | △5,860 | 717,376 |
| セグメント利益又は損失(△) | 10,128 | △52,529 | △2,225 | 14,842 | △29,783 | △96,523 | △126,307 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-------------------|--------------|---------|---------|---------|---------|--------------|--------------------------------|
| | ジェノミクス 事業 | CRO事業 | 先端医療事業 | 病理診断事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 143,846 | 265,521 | 135,556 | 201,660 | 746,584 | 5,000 | 751,584 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 4,164 | 2,583 | 2,048 | — | 8,796 | △8,796 | — |
| 計 | 148,010 | 268,104 | 137,605 | 201,660 | 755,381 | △3,796 | 751,584 |
| セグメント利益又は損失(△) | 887 | △25,764 | △25,145 | 19,892 | △30,130 | △103,154 | △133,285 |

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△104,656千円、報告セグメント間取引に係る未実現利益消去△3,498千円および持分法適用関連会社からのコンサルティング収入5,000千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループ内での経営管理区分の見直しを行った結果、従来、「先端医療事業」に含めておりました抗体試薬事業を「ジェノミクス事業」の区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。